藤井浩人TIMES
－未来への挑戦－　Vol.3

日頃の活動へのご理解に心から感謝申し上げます。

前回の活動報告後には、多くの皆様からご支援をいただくことができ、今回も会報を発行することができました。

昨年の12月11日、最高裁判所での上告が棄却されたことを知らされ、14日に辞職届を議会に提出いたしました。それから1年。悔しい思いは微塵も変わりませんが、新たなことを学び、多くの方に支えられていることを痛感し、政治へかける思い、美濃加茂市の将来のために粉骨砕身働きたいという決意は、より一層大きくなりました。

現在は大学での研究に加え、臨時国会開会中ということもあり、様々な法律や制度について勉強しています。特に感じることは、1700以上ある自治体を国の力で元気にすることは不可能です。世代を超えて私たち一人ひとりが、社会に関心を持ち、身近なところから変えるべきことと、守るべきことをしっかりと考え、未来に向けて一歩一歩踏み出していくことが大切だと思います。

重ねて、ご支援いただける皆様に心から感謝申し上げますとともに、また次の1年も一日一日精進して参りますことをお誓い申し上げます。

いよいよ平成最後の年末年始を迎えます。お忙しい季節となりますが、くれぐれも体調などお崩しになられぬようお気をつけいただき、よいお年をお迎えください。年明けには、また皆様と笑顔でお会いできますこと心より願っております。

前美濃加茂市長　藤井浩人

藤井浩人の主な活動

現在、東京で企業経営者や専門家の前でお話しする機会をいくつもいただいています。１２月には愛知学院大学の法学部の学生さんの前で私の事件について講義させて頂きました。教授はじめ、法律を学ぶ学生さんが非常に不可解な事件だと認識してくれていました。私の行政での経験や事件に関することなど、お話しさせていただける機会がありましたら、ぜひお声掛け下さい。

月1回の清掃活動を、多くの先輩方や仲間の協力のもと行っています。このゴミ拾いを始めたきっかけは市議会議員の選挙中、あまりにも道端にゴミが多いことに気がついたからでした。まちの課題や将来のビジョンについて議論することは大切ですが、目の前にある課題から目を背けず、一つひとつ丁寧に解決していくことも必要ではないでしょうか。

「TEAM505」という団体で活動していましたが、現在は全国組織と協力し「グリーンバード美濃加茂」として活動しています。Facebookなど主にSNSを中心に日程などご連絡しておりますので、ご興味のある方、ご参加いただける方はご連絡下さい。また毎月第4日曜日の夜に、中学生、高校生向けに進路指導や勉強方法について地域の若者と一緒に無料の塾を開催しています。ご興味のある方はご連絡下さい。

藤井浩人同志会より御礼

前回の藤井浩人TIMESで献金のお願いをさせていただいたところ、たくさんの方にご協力いただき誠にありがとうございました。今後の藤井TIMES発行や、政治活動の資金として大切にご活用させていただきます。引き続き個人献金は募集しておりますので、藤井浩人の政治活動にご理解、ご賛同いただける方はよろしくお願いします。

【お振込み先】
大垣共立銀行 美濃加茂支店　普通992000
藤井浩人同志会　代表者　藤井浩人　1口　3,000円より

現在の政治資金規正法では、藤井浩人同志会が企業・団体献金を受けることは禁止されております。また、政治家個人への寄附は認められていないため、藤井浩人同志会（政治団体）が、皆様から頂戴した献金をもとに藤井浩人を支援致します。

そのため、ご寄付いただいた場合、藤井浩人のホームページよりご連絡いただくか、下記メールまでご連絡下さい。

【メール】fujii.doshikai@gmail.com　　【藤井浩人同志会事務局】　渡辺　090-7671-4252

4年半の活動報告

在任中の活動報告や、日々の活動を通じて感じたことを分野ごとに毎号行っています。今回は「目の前の景色を変える。里山千年構想」です。

我が国の森林面積は約７割、私たちの住む美濃加茂市の森林面積の割合をご存知ですか？　7481haのうち、美濃加茂市の林野面積は2958haで、約４割となります。針葉樹である濃い緑が広がるエリアのほとんどは、戦後の木材不足の折に、スギやヒノキが植林されました。当時は森林を整備し、木を大切に育てることで将来の貴重な財産になると信じられていました。しかし、この７０年の間に我が国はエネルギーの転換と価格の安い輸入材に頼ることが当たり前となってしまい、森林は手入れされなくなってしまいました。

森林が荒れてしまうことで、土砂災害や洪水発生、イノシシやシカをはじめとした動物が農地や人が住む地域まで出てきてしまう鳥獣被害の原因となってしまうなど、様々な問題が起こっています。また、育ってしまった木は二酸化炭素の吸収能力も無くなってしまうため、植え替えをしなければなりません。

森林を整備することで、それら幾つもの課題を解決することに加え、美しい河川や海を守ること、生態系を守ること、都会には無い子どもたちの遊び場・成長の場を造ること、山菜や松茸が採れるなど、私たちの地域ならではの生活空間を取り戻すことが可能となります。

そのような将来に向けた思い、地域の皆さんの声や力により「里山千年構想」がスタートしました。自然を相手にしたこの政策は、長い視点で考えなければならないので「千年」という壮大な時間軸で命名しました。

この「里山千年構想」は、市役所や市議会の皆さん、地域の皆さん、可茂森林組合、加茂農林高校、国際たくみアカデミー、美濃市にある国際森林アカデミー、企業各社をはじめ、多くの方の協力を得ながら期待以上の成果を出しています。

【里山整備】

荒れている山を見極める一つの方法は「竹林」の広がり方です。山の手入れができなくなると、竹がどんどん広がっていきます。そして、森林を再生するためには、まず竹を一掃しなければなりません。

ここ数年、市内各地では、地主さんや地域住民の皆さんの協力と市役所の「里山係」と「竹の破砕機」の投入により、竹に覆い尽くされた山林が見違えるように綺麗になっています。伐採した竹も粉砕することにより、様々な用途が見つかっています。

山之上や三和の北部エリアだけでなく、蜂屋、古井地区でも自治会を中心に地域の方の主導と市役所の協力により進んでいます。里山整備作業への参加や、相談は随時行われているので、ご関心がある方は是非お知らせください。

【木材の利用】

市内の森林を調査したところ、この地域の特色として「楠」（あべまき）という木が群生していることがわかりました。あべまきは皮が非常に厚く、かつては皮をコルクとして利用していたそうです。木材としての歴史も古く、京都の桂離宮の門には皮付のまま使用されています。あべまきを利用した家具や文房具、名刺入れをはじめ、様々な活用法が研究されています。

特に「あべまき地域材プロジェクト」は山之上小学校において、5年生の時にあべまきの伐採を体験し、6年生では木材から学校机の天板をつくる挑戦をします。そして出来上がった天板は6年生から新1年生に贈られます。このプロジェクトが林野庁長官賞やキッズデザイン賞を獲得しています。あべまきは市内の加茂野交流センターの机、美濃加茂サービスエリアの棚、リバーポートパークのカウンターなどで見ることができます。是非、重みのあるあべまきを触ってみてください。また、間伐材を薪として地域で利用するために、各家庭や事業所における薪ストーブの設置を推奨しています。今年度からは薪ストーブ等購入補助金もスタートしています。

【森のようちえん】

里山のある美濃加茂市で、子ども達が自然の中でのびのびと遊べる場所をつくっていこうと、ボランティアの皆さんや保育園の先生のご協力により数年前にスタートしました。全国的にも広く展開されている取り組みですが、公共として森の活用と子どもたちの成長をつなぎ合わせられるような仕組みづくりに取り組んでいます。

更に今後は、日常的に里山での体験ができるような整備と取り組みの推進を期待しています。

その他にも、企業の力で森林整備を行うプロジェクトや、みのかも健康の森のリニューアル、県の理解を得て「日本昭和村」が「ぎふ清流里山公園」として再出発しました。

地域の貴重な資源であり、歴史や文化が詰め込まれた自然環境を私たちが再認識することは、真の意味での美濃加茂市の地域活性化に繋がっていきます。

発行：藤井浩人同志会
〒505-0041　岐阜県美濃加茂市太田町1792-1
TEL 0574-25-1937
ホームページ：http://hiroto-fujii.jp/

藤井浩人同志会へ入会いただける方、「藤井浩人TIMES」配布ご希望の方は、裏面のEメールアドレスへご連絡いただくか、お電話にてご連絡下さい。